

市政懇談会

「市長と語る会」を開催しました

10月3日から17日にかけて5地域で市政懇談会「市長と語る会」を開催しました。

今年はテーマを「もっと住みたいわくわく下呂市」市民のみなさんと描く市の将来像」とし、参加者へ意見・提言などを事前にお聞きして回答や検討内容の充実を図りました。また、会場の配置を一年前から引続き車座にし、親密に懇談を進めました。

どの会場でも、参加者から活発な意見・提案があり、また、市長の考えや思いなどを聞いていただきました。

その内容の一部をご紹介します。

【秘書広報課】

※紙面の都合上、同じ内容の質問はまとめたり要約したり、正式な用語にしたりしている部分がありますので、ご了承ください。

実施日・会場

10月3日

きこりセンター(小坂)

10月8日

星雲会館(秋原)

10月10日

馬瀬中央公民館(馬瀬)

10月15日

下呂市民会館(下呂)

10月17日

下原公民館(金山)



◆人口減少が深刻な問題で、特に15〜20歳の人口が少

い。高校卒業後も地元で就職してもらえないような対策をしてほしい。

食物に関心を持っていたらこうと、益田清風高校に要望し、今年から下呂市に対応した「食物学科」を作っていたできました。また、昨年からは東京に職員を配置し、首都圏からの移住定住希望者への支援や進学などで首都圏へ出ている人向けのイベントを開催するなどUIJターナーを増やす対策を実施しています。さらに、下呂市だけでなく周辺地域との連携を図りながら、有効な施策を打ち出していけるように進めていきます。

◆図書館の整備についてどうい計画を進めていくのか聞きたい。また、建設するにあたって市民が愛着のわくよう

なコーナーの設置や高校生の活動の場となるように工夫してほしい。

本を読むことや本の貸し出しだけなどの単純な施設ではなく、コミュニケーションの場、活性化のもととなるような若いも若いも皆さんの居場所となるような図書館にしようとして検討しているところですよ。また、下呂市産材を活用して木に親しんでいただけるといい施設にしたいと考えています。

◆観光施設の一つとして木材の遊戯施設・足湯などを設置した下呂市の温泉や広大な自然を生かした公園を作ったらどうか。また、人口減少は子育てが密接に関わっていると思うので、子どもたちの遊べるところを増やし、すばらしい子育て環境の整備に努めてほしい。

各地域でどこに公園が必要

か候補地の検討を開始し、次年度以降に公園整備を進めていく予定です。近隣の施設を上手く活用した仕掛けの検討



▶服部市長の発言に耳を傾ける参加者
10月10日、馬瀬中央公民館



▲はじめに下呂市市民憲章を唱和する参加者ら＝10月8日、星雲会館

やご家族で利用できるような整備、また、温泉だけでなく自然、歴史、文化、食などの魅力ある地域資源を多くの人が楽しみ、下呂市がにぎわっていくことを目指して取り組んでいきます。

◆保育料の無償化は大変ありがたいが、保育士の確保など子どもを受け入れる体制は整っているのか。市と民間での格差なく、下呂市の子育て自慢を発信して保育士の確保に努めてほしい。

0歳児は3人、1歳児は6人の子どもに対し保育士1人をつけており、たくさんの保育士が必要です。保育士の待遇については、市と民間での格差のない支援をしていき、しっかりと協議しながら進めていきたいと思えます。また、中学・高校での職場体験などを通して保育士の仕事を経験してもらいながら、保育士の確保に努めていきます。

◆リニアが8年後に完成予定ですが、中津川市から下呂市までは約1時間かかるので、

その間を少しでも短縮できるように道路の整備などをしてほしい。

中津川駅の周辺5kmは整備を進めているが、下呂市側の整備計画はないのが現状です。危険箇所などもあるので、中津川市や近隣の郡上市、東白川村、また飛騨2市1村にも同盟会に入っていただいているので、国や県に声をあげて一刻も早い整備に向けた取り組みを行っていきます。

◆下呂市に移住者が来ることはとても喜ばしい。今後も移住者が増えることを願っています。

下呂市で空き家対策事業を始めてから約70世帯130、140人が移住してきています。現在下呂市は若い世代を優先的に、空き家の紹介をしているところですが、しかし、空き家を登録していただかなかつたり、衛生面の問題があつたりと課題もあります。人口減少対策にもつながることなので地元に住んでいる皆さんから空き家の持ち主に声をかけていただき、少しでも

空き家の登録を増やしていきたいと思つています。空き家の情報提供もぜひご協力お願いします。

◆商店が少なく、特に高齢者は気軽に買い物に行けなく困つている。移動販売車はあるがやらなくなつてしまつた時どうしたらよいか不安に感じる。

買い物ができなくなるのは切実な問題です。JA様の協力で、行政と一体となつて進めていかなければならないと考えているところです。皆さんに喜んでもらえるような施策を進めていきます。

この他にも、各会場でたくさんのお意見や提言、質問などがありました。紙面の都合で、一部しか紹介できないことをお詫びします。
※この他の内容については、市ホームページでご覧いただけます。また、郵送でも対応させていただきますので、秘書広報課までご連絡ください。

【秘書広報課 ☎24・2222】